

## あるホテルの朝食

@Ochanomizu

J R 御茶ノ水駅を水道橋側  
の出口で降り、明大通り  
に突き当たる坂を神田神保町方

向に上ると、丘の上に明治大学  
に隣接して山の上ホテルがあ  
る。終戦直後には将校用の宿舎  
として米軍に接収されていたこ  
ともあった、小さなホテルだ。

わたしの東京での定宿は、こ  
こ30年ほど、ずっと国際文化会  
館だった。以前にもこのエッセ  
イでちよつと触れたが、国際文  
化会館のお庭は素晴らしい。そ  
して会館職員は、ちよつと信じ  
られないくらい親切な人たちが  
多いのである。

一日を大学の研究室や国会図  
書館で過ごし、六本木・鳥居坂  
に戻って、コーヒーを飲みなが  
ら、国際文化会館のお庭をぼん

やりと眺めていると、疲れ、す  
さみかけていた心が洗われるよ  
うに感じた。

老朽化した建物を改修するた  
めに、国際文化会館は一年半ほ  
ど閉館されていた時期があつ  
た。東京での宿舎に困ったわた  
しに、知り合いの編集者が紹介  
してくれたのが、この山の上ホ  
テルである。

なんでも、出版界と強いつな  
がりがあるホテルだとかで、出  
版社の紹介を通すと、お部屋の  
料金を特別にしてくれるという  
ことだった。

わたしは東京を訪れると、最  
短の旅程でも普通2週間は滞在  
する。それでなにより、よく眠れ  
くつろげる空間が必要となる。  
それゆえ、超一流と言われるも

のでも、高層ホテルはわたしの  
滞在には向いていない。第一、い  
くら空調が整っているからとし  
ても、窓が開けられない空間に  
数日間続けて滞在するのは、わ  
たしには無理だった。

すぐそばには、神田の書店街  
および古書店街が控える。岩波  
書店、集英社など、お付き合いの  
ある出版社も、徒歩数分の場所  
にあった。お部屋の調度も、木製  
の古くて落ち着いたものが多い。  
「江戸っ子だってね?」

「神田の生まれよ」  
森の石松が自慢するように、東  
京下町にあるのだから、周辺に  
緑が少ないのは仕方ない。そう  
いった短所を補って余りある宿  
舎だった。わたしはすっかりこの  
ホテルが気に入ってしまった。

でも、山の上ホテルで何が一  
番気に入ったのか、ご想像でき  
ますか?

じつは、ホテルの食堂でい  
ただく朝食だった。

絞りたてのオレンジジュース  
に、香り高い淹れたてのコーヒ  
ー。

大きなお皿には、かりかりに  
焼き上げたベーコンと、フライ  
ド・エッグがサニーサイド・アッ  
プで載っている。あとはトース  
トにマーメイド。

何の変哲もない洋朝食なのだ  
が、これがゆつたりとして素敵  
に素晴らしいのである。

まだ寝ぼけているわたしの身  
体に、その日一日の活力が、ゆ  
っくりと満たされていくように  
感じた。☺